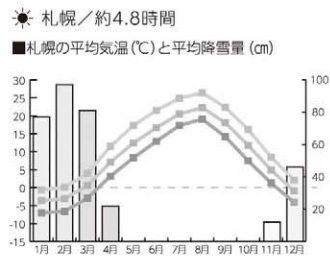


# 北海道 基本データ

## 道央エリア①

空知、石狩、後志を含むエリアです。温暖ですが、冬は雪が多く降ります。



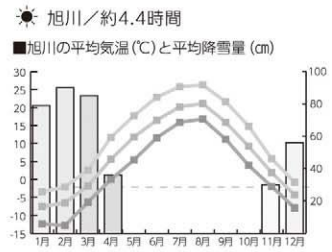
札幌 ↔ 旭川  
1時間25分

札幌 ↔ 小樽  
32分

札幌 ↔ 函館  
3時間37分

## 道北エリア

上川、留萌、宗谷を含むエリアです。日本海側は比較的温暖ですが、内陸部は夏と冬の寒暖の差が激しく、冬は-20℃を下回ることもあります。

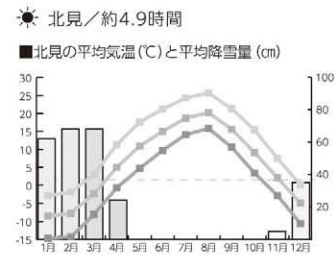


稚内 ↔ 旭川  
3時間40分

旭川 ↔ 北見  
2時間52分

## オホーツクエリア

年間を通じて降水量が少なく日照時間が長いのが特徴です。冬には、オホーツク海に流氷が接岸します。



※ 年値は1981-2010年の30年間の観測値の平均をもとに算出しています。  
出典: 気象庁ホームページ

■ 最高気温 ■ 平均気温 ■ 最低気温

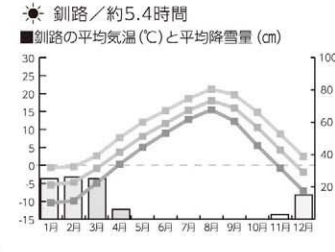
※ JR都市間所要時間(特急及び快速)  
出典: JR北海道ホームページ

区間  
所要時間

釧路 ↔ 根室  
2時間10分

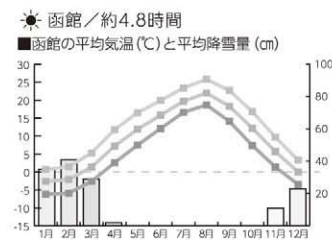
## 釧路・根室エリア

夏は涼しく、冬は気温が低く、冬の霧「けあらし」などの自然現象も見られます。



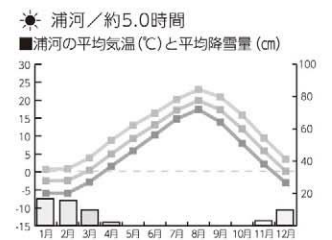
## 道南エリア

渡島、檜山を含むエリアです。寒暖の差は小さく、道内で最も温暖です。



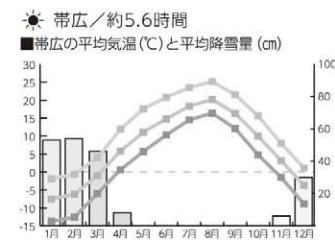
## 道央エリア②

胆振・日高を含むエリアです。寒暖の差は少なく、道内でも温暖で積雪量も少ない地域です。



## 十勝エリア

内陸部の夏は比較的暖かく、冬は気温が下がり、年間での寒暖の差が大きな地域です。冬期間の日照時間が長く「十勝晴れ」と言われています。



# 比べてみました 北海道

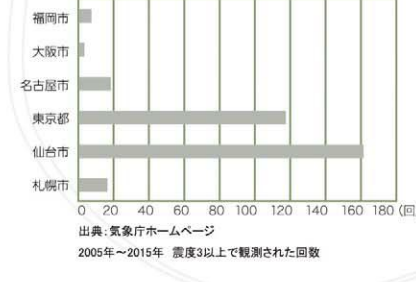
## 花粉総飛散量(スギ・ヒノキ)



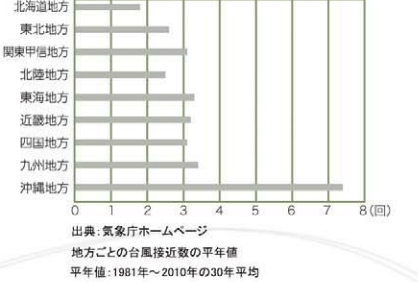
自然豊かな北海道ですが、全国的に見ても台風の影響を受けにくいという理由から、企業のデータをバックアップするデータセンターとして選ばれることも多い土地です。



## 地震発生回数



## 台風接近回数



# 快適



本州で暮らしていてちょっとつらいことのいくつか、北海道では解消されます。たとえば、空気の清々しさ。北海道の春は本州に比べてスギ花粉は少なく清々しい空気に満ちています。あのつらい花粉症とはお別れです。たとえば、朝の通勤ラッシュ。毎日のことなので、長い通勤時間や、立つのがやっとな電車に乗るのはストレスが大きいもの。札幌などでも多少のラッシュはありますが、通勤時間の平均は本州の半分程度。混み具合もまったく違います。

## 通勤時間

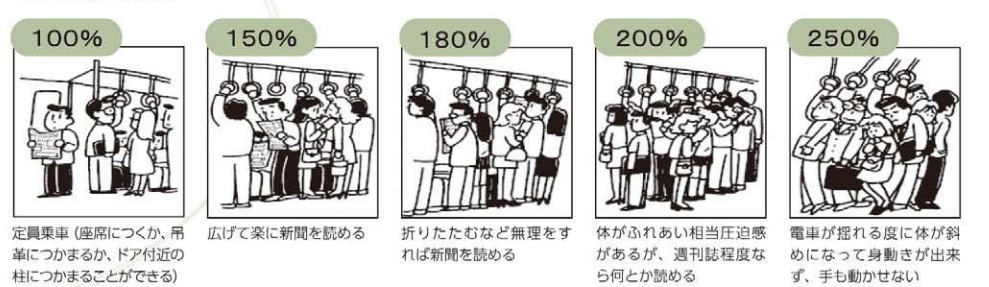


## 混雑率調査

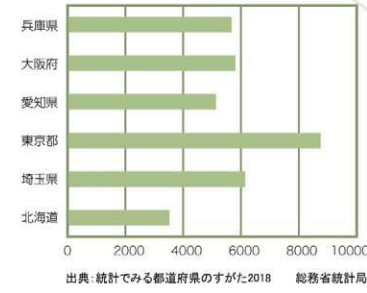
線名	区間	混雑率
地下鉄南北線	中島公園 → すずきの	100%
地下鉄東豊線	北13条東 → さっぽろ	121%
J R 琴 似 → 桑 園		121%
地下鉄東西線	菊 水 → パスセンター前	120%
東京地下鉄東西線	木 馬 → 門前仲町	199%
山の手線	上 野 → 御 徒 町	159%

出典: 平成28年 国土交通省混雑率資料

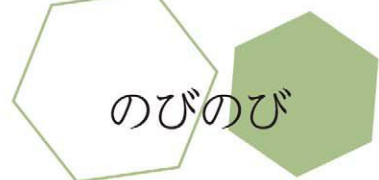
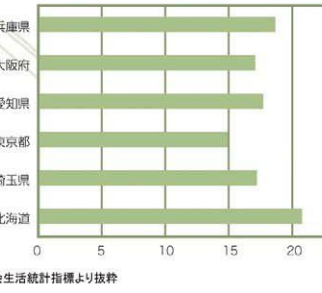
## 混雑率の目安



## 民間賃貸住宅の家賃(1か月3.3㎡当たり)



## 借家住宅の量数(1住宅当たり)



同じ広さであっても家賃が違うのが北海道。平均的な住居の広さも違います。広くって安く住む。北海道では、暮らしも、時間も、本州にくらべてのびのびです。